

札労研だより

平成27年 1月号

No. 221

発行
(-社)札幌建設業協会
労務研究会



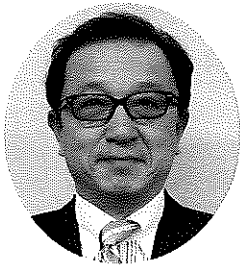
公営住宅(下野幌団地建替H-1号棟)新築工事(主体工事)

発注者：札幌市長 上田 文雄
工事場所：札幌市厚別区厚別中央1条5丁目5番1号
施工：伊藤・岩倉特定共同企業体
全体工期：平成23年10月3日～平成25年10月31日

工事内容：建築面積 合計：1,270.59㎡
主体構造 RC造
地業 既製コンクリート杭
φ700～950 L=25m 95本
階数 地上14階 搭屋1階

目次

新年のご挨拶 (-社)札幌建設業協会労務研究会委員長	大谷 浩樹	2
新年のご挨拶 札幌中央労働基準監督署長	吉村 直起	3
新年のご挨拶 札幌東労働基準監督署長	渡辺 和樹	3
札労研に入会して 道路工業(株)	小玉 博之	4
札労研に入会して 大東工業(株)	松田 元之	4
第57回全国建設労働問題連絡協議会並びに第33回全国労研交流会議の報告		5～6
平成26年度「けんろく会」活動報告		7
北海道労働局労働基準監督署 管轄・所在地一覧		8～9
我が社の安全衛生管理活動の紹介〔岩田地崎建設(株)〕		10～11
札労研メモ		11～13
札労研委員紹介		14～15
カメラが見た安全の工夫あらかると		16



新年のご挨拶

(一社)札幌建設業協会 労務研究会

委員長 大谷 浩樹

新年あけましておめでとうございます。

札労研会員の皆様方には平素より業務多忙の中、労研活動にご協力頂き心より感謝致します。また、行政の皆様方を始め多くの方々のご指導、ご支援を賜りました事、この場をお借りして心より厚くお礼申しあげます。

札労研の委員長として、この新年の挨拶も今年で3回目となります。その間にも社会保険未加入対策、人手不足、労務単価の向上そして自然災害の発生などの様々な問題が取り上げられ、民主党から自民党への政権交代により建設産業は大きく変貌しました。そして平成27年は労働者不足がさらに深刻になることが予想されます。アベノミクスなどの経済対策などで建設産業にも一時的に好景感が漂いましたが予想していた労働者不足が大きなネックとなり、決して喜べる状況ではなくなりました。さらには急激な円安による資材等の高騰でさらに厳しい状況が続きそうです。

このような状況を踏まえ行政並びに建設業協会などは現在、若年者入職そして女性の採用など積極的な支援を行っており、今後は企業における労働環境の整備が大きな課題となり労務管理の重要性はさらに増すものと思われれます。

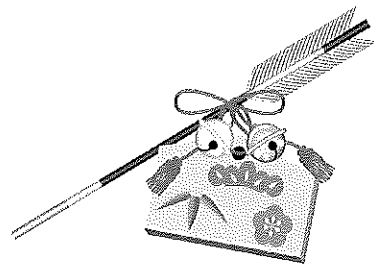
安全面においても労働者が不足する中で工事量が増加したことにより近年は労働災害が増加に転じております。不慣れな労働者の参入や安全面よりも専門業者の日程に左右された工程管理など、現場運営においても非常に厳しい場面が多々見受けられました。

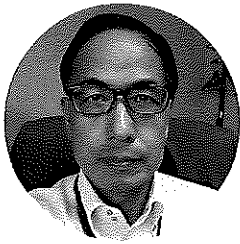
そして昨年は経験したことのないような豪雨が支笏湖周辺で降り、土砂崩れや橋梁の損壊など

甚大な被害をもたらしました。労働者、重機械類そして資材が不足する中、復旧に相当な時間を要すと思っておりましたが、工事に従事された方々の技術力と努力により早期に復旧し、いつも釣りて国道453号線を利用している一市民にとって、あらためて建設業の重要性を実感させられた年でもありました。

さて、札労研各部会の活動ですが、労務管理部会では二年前から「労災保険適用の手引き」の改定に取り組んでいました。この手引きは非常に専門的知識が必要であり行政の方々の指導のもと本年の発行を予定しています。また、安全環境部会ではインフラ事故の抑制を目指し、(仮称)ライフラインの事故事例等について編集作業を行っており平成27年度中には発行できるよう努力しているところです。これら労研の成果物を是非、多くの方々に利用して頂けるよう現在、思案しているところでございます。

最後になりますが平成27年は建設業にとりまして充実した一年であり、会員の皆様方にとり幸多い年となりますことをご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。





新年のご挨拶

札幌中央労働基準監督署
署長 吉村 直起

あけましておめでとうございます。

札幌建設業協会労務研究会の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。皆様には労働基準行政の推進に当たり格別のご理解とご協力を賜っており、深く感謝申し上げます。

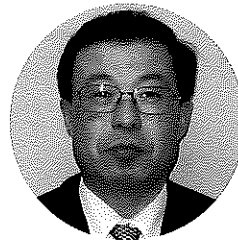
平成27年におきましても、労働条件の確保・改善対策および労働災害防止対策について行政の最重要課題として取り組みを進めてまいりますので、これまでと変わらぬご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

さて、ここ最近の管内の情勢ですが、まず労働条件を巡る問題から申しますと、窓口寄せられる相談等の件数は高止まり傾向のままであり、必ずしも景気回復を思わせる状況ではないと見ております。その内容は賃金不払いや解雇が相変わらず多くなっており、長時間労働、過重労働を巡る問題、割増賃金など多岐にわたっております。

労働災害防止の面では、昨年ことに顕著でありましたが、労働災害の減少傾向にストップがかかり、建設業、製造業、運送業などの主要な産業でも対前年比で相当の増加を見たことは極めて憂慮に堪えないことです。また、脳・心臓疾患、精神障害、石綿障害に係る労災請求事案は増加傾向ですが引き続き、迅速・適正な給付に努めているところです。

今年も以上の諸課題等について重点的に取り組んで参る所存ですが、労働基準関係法令の幅広い周知啓発や労働災害防止対策徹底の機運醸成、企業における自主的安全衛生管理活動の促進については、ひとり行政のみの力では足りず、労使の皆様のご理解とご協力を賜わなければ、能く推進することができません。札労研の皆様には、従来に増してのご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

結びに、札労研の今後益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

札幌東労働基準監督署
署長 渡辺 和樹

明けましておめでとうございます。

札幌建設業協会労務研究会の会員の皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、会員の皆様には労働基準行政の推進につきまして格別のご理解とご協力を賜っており厚く御礼申し上げます。

また皆様の長年にわたる建設業における雇用改善対策、労働災害の防止等への積極的な御取組につきまして、改めて敬意を表させていただきます。

昨年暮れの北海道内の景気は、緩やかな持ち直し基調が続くなか、弱い動きが広がっているとされ、依然厳しさの残る経済雇用状況を反映し、私ども監督署に寄せられる賃金の未払いや長時間労働等にかかる労働相談が高水準で推移し、最近では、いじめ・嫌がらせ（いわゆるパワーハラスメント）の相談が従来最も多かった「解雇」を上回って増加しております。

全国的に、職場のパワーハラスメントは社会問題として顕在化しているとともに、精神障害の労災補償状況においても、「(ひどい)嫌がらせ、いじめ、または暴行を受けた」ことによる支給決定件数が増加している状況にあります。

全国的に約半数の企業がパワハラ予防・解決のための取組を行っておらず、企業・労使全体で取り組むことが重要と考えますのでよろしくお祈りいたします。

また昨年11月1日より、「過労死等防止対策推進法」が施行されました。今後、国を挙げて、過労死等の防止に一層取組むことになりましたので、ご理解をよろしくお祈りいたします。

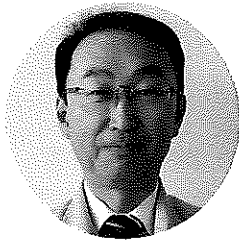
労働災害につきましては、長期的には労働災害の減少が図られ、皆様のご尽力に感謝申し上げます。

一方で、昨年は、札幌両署管内において、建設業の死亡労働災害が増加し、死傷災害も増加傾向となっております。

特に建設工事においては、深刻な人材不足等が続いており、現場の安全衛生管理等への影響も懸念されるところです。

本年は、第12次労働災害防止計画の3年目となりますが、皆様におかれましては、昨年施行されました改正労働安全衛生法へのご理解をお願いいたしますとともに、引き続き元方事業者の統括管理の徹底、墜落・転落災害、重機災害等の防止対策、リスクアセスメントの実施、建築物の解体工事に伴う石綿ばく露防止対策、熱中症対策、化学物質による健康障害防止対策等の一層の取組に向けたご尽力をよろしくお祈り申し上げます。

結びに、本年が会員の皆様にとって良い年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお祈り申し上げます。



札労研に入会して

道路工業 株式会社
小玉 博之

平成26年4月より前任の吉田輝彦の後任として札労研に入会させて頂き、常任委員の一員として、労務管理部会に参加させて頂いております。

この間、会議では出席して話を聞くだけで、何のお役にも立てておりませんが、何も分からない私を温かくご指導頂き感謝しているところです。

早く委員会の皆様に溶け込めるよう、行事にも積極的に参加したいと思っておりますので、よろしく願います。

ここで自己紹介をさせていただきます。

私は、昭和58年に道路工業株式会社へ入社し、その後14年間は、道内の工事事務所に勤務していましたが、平成9年に会社がISO9001品質マネジメントシステムに取り組む際、認証取得準備のメンバーとなりました。

平成10年に認証取得、平成11年に品質保証室長となり、社内の運用管理を行う一方で、外部に対するコンサルタント業務を開始し、平成12年からは、審査機関の外部契約審査員として、道内や青森の建設会社の審査を行いました。

当時、建設業界はISOの認証取得ラッシュが続いており、コンサル件数も順調に伸びて、毎日各地へ飛び回る業務の忙しさはありましたが、社外へ出て仕事をやる面白さもあり、充実していました。

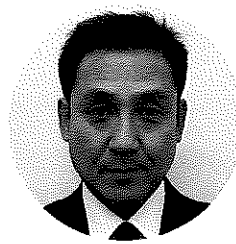
しかしながら、良い時期はそう長く続くことは無く、平成16年をピークに、コンサル件数は激減し、平成18年に総務部へ配置転換となり、その後、営業部でアスベスト除去の営業等を経て、平成21年に安全部へ配属となりました。

労働安全衛生の仕事は奥が深く、経験の浅い私には荷が重い仕事ではありますが、昨年、労働安全コンサルタントの資格を取得し、事故・災害の未然防止の為、現場パトロールを頻繁に行っておりますが、問題も多く結構冷や汗ものです。

現場では、安全第一を掲げてはいるものの、作業員自らが安全を意識して、保護具の適切な着用や、決められた作業手順を認識して作業しているのはほんの僅かです。

最近、近所の神社へお参りすることが多くなりましたが、安全管理を神頼みではいけませんので、作業員の皆さんには、建設現場における仕事の喜びと共に、安全大好きになって貰えるよう働きかけて行きたいと思っております。

まとまりのない文面となりましたが、最後に、色々な面で何かと未熟者の私ですが、札労研を通じて勉強させて頂き、多少なりともお役に立てればと思っておりますので、今後共ご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。



札労研に入会して

大東工業 株式会社
松田 元之

平成26年5月より大東工業株式会社として初めて札労研に入会、労務管理部会の一員として参加させて頂きました。入会のお誘いをいただいた時は、「札労研？何をしているところ？」という程度の認識で、全く予備知識がないままで活動の内容を聞いた後も、弊社のような下請会社がこのような会に参加して良いものかと思案しました。

社長の飯島に相談したところ、『下請としての視点から、何かお役に立てる事があるのではないか』とのことで参加させて頂いた次第です。

初参加は5月の歓迎会からで（常任委員会には所内で参加できず）名刺の交換はさせて頂いたものの、多くの方が弊社の元請けの方であり失礼があつてはならないという緊張感で、正直なところ当日のことはよく覚えていません。元来、人の顔を覚えることが苦手な、もしや失礼があつたのでは・・・と少々心配しています。

私が建設業を目指したのは、はっきりとした目標や目的があつたわけではなく、実のところ『何となく』でありました。決して裕福な家庭ではなかつたので、現場実習が有り、しかもその期間は手当てまでいただいて学費の足しになるということで専門学校に進学し、2年生の時の実習先が大東工業でした。ものを造るのが楽しくなり、卒業後はそのまま入社し現在に至っています。入社2年目の昭和56年（56災害の年）に構成員としてJV工事に派遣されましたが、その時のJV所長が高橋副委員長でありました。そんな縁がありましてこの度入会の運びとなり、人の縁の不思議さを感じています。

手がけた工事で印象に残っているのは、阪神淡路大震災翌年の平成8年に道路公団発注の耐震補強工事元請けの現場代人として道内初の炭素繊維シートによる施工をしたことです。この時はバスをチャーターし公団職員が大挙して現場見学に来たほどでした。もう一つは、平成19年に国道12号線の豊幌地区で、石狩川の堤防の上を通過していた国道を大きく切り替え、慢性的な渋滞を早期に解消したことです。

現在は本社勤務となり法令遵守や労務安全を担当し、自社の社員や2次下請けを含めた所有資格の管理や現場の安全パトロールなどを行いながら、作業員・オペレーターの高齢化や慢性的な人員不足、未習熟な作業員の増加という状況下で、どうしたら事故を減らせるか・・・無くすことができるか・・・を考える日々です。

私の労務に関する知識は僅かで、諸先輩の知識の豊富さや経験の豊かさに圧倒されどおしですが、この度の入会を良い機会として勉強させて頂き微力ながらもお役に立てるよう努力しますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



第57回全国建設労働問題連絡協議会ならびに 第33回全国労研交流会議参加報告

(一社)札幌建設業協会 労務研究会
委員長 大谷 浩樹

11月4日第57回全国建設労働問題連絡協議会、翌5日第33回全国労研交流会議が東京で開催され札労研を代表して参加させて頂きました。これらの会に参加するのは4度目となりますが連絡協議会では毎年、国の施策に基づいたテーマが協議され社会保険問題、若年者入職問題、そして今回は女性の活躍応援というテーマで全国から建設協会、労研などの関係者149名（内北海道13名）が参加のもと第1部では厚生労働省雇用均等・児童家庭局の小林洋子課長により「女性の活躍促進について」の講演がありました。その中で労働生産人口の不足に対応するために女性の労働参加は不可欠であり、とりわけ日本は先進国の中でも女性の社会進出は非常に低く、今後欧米諸国並みの水準に引き上げることで日本のGDP押し上げを図ることが日本経済にとって重要であること、また現在の女性の労働力率はM字カーブを描いており、今後は国の政策も含めいかにしてM字カーブを解消するか？そして建設産業におけるの取り組みは不可欠であるとの講話がありました。

第2部では建設業に就業している現役の女性6人が周燕飛コーディネータのもと建設業での女性参加における課題などがパネルディスカッション方式で行われました。

その中でトイレや更衣室などのハード面における対応は大きな問題とはならないが、やはり出産、子育て

という大きな壁が女性の建設現場への参加の前に立ちはだかり、これは社会構造が変わらない限り、乗り越えるのはとても難しいとの意見が多かった。確かに出産前は建設現場で勤務していたが、その後は社内で積算などの事務的業務に就くケースも多く、これで建設産業への女性の進出が達成されたと言ってよいのか・・・。懐疑的に思える部分もありましたが取りあえずは、出産後の女性が働ける環境の構築が最重要課題だと改めて認識させられた会議でした。

本命の労研交流会議では全国各地より81名の労研関係者が参加し、活動成果の報告が行われました。札労研からは伊藤安全部会長、河端委員、また道労研からは高橋安全部会長（札労研副委員長）も参加し、昨年の成果物である「建設現場安全関係参考書式集」H26年改定版の説明を行っていました。高橋副委員長も3年連続の発表となりパソコンの操作も含め、余裕を持った説明でとてもわかり易い内容でありました。

今回の会議では愛知労研が発表した「建設系高校生人材育成・入職促進事業について」で現役高校生を対象にした研修会や技能講習に関する取り組みが特に注目を集めていました。本会議の内容につきましては伊藤、河端両委員より報告をお願いすることとして、最後に来年も札労研から当会議に出席して頂き、全国各地の労研の取り組みなどを参考に今後の札労研の活性化に繋げて頂きたいと願う次第です。

第57回全国建設労働問題連絡協議会ならびに 第33回全国労研交流会議に参加して

(一社)札幌建設業協会 労務研究会
安全環境部会長 伊藤 勝行

今年4月に安全環境部会長という立場になり、労務研究会活動を少しでも理解するため、今回初めてこの会議に参加させて頂きました。

まず初日の「第57回全国建設労働問題連絡協議会」では、「女性の活躍応援フォーラム」と、建設業で働く女性技能者6名によるシンポジウムが行われ、家庭を持ち夫・子供の世話をしながらの労働環境の厳しさ・難しさなど様々な意見が飛び交っていました。その中でそれぞれが口を揃えて話をしていたことは、「家族の支えや理解がないと続けていけないこと」・「職場での育児・介護休業、週休2日等の



制度や女性トイレ・更衣室の施設など労働環境がまだまだ改善されていないこと」などを挙げており、建設業において、女性技能者を増やす施策の一つとして、女性管理職を増やし、女性ならではの発想をもって職場環境を改善していけるようになれば、建設業界も変わるかもしれないと感じました。またその後に行われた懇親会に於いては、札労研以外の方とも情報交換を行うことができ、大変楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

翌日の「全国労研交流会議」に於いては、各地方労研からの発表を聞いて、特に印象深かったのが、愛知労研で発表した「建設系高校生人材育成・入職促進事業について」でした。高校生・高校教諭対象の現場見学会や高校生現場体験実習(インターンシップ)・保護者も含めた現場見学会など様々な工夫を凝らした促進

事業を実施していたことに驚きました。また、CBCラジオによる広報活動を実施しているということで建設業への取組の真剣さが感じられた。他の労研の取組みについても、会社の規模にもよると思いますが、40年以上の長い歴史をもった労研があり、建設業の安全と切り離せないものだと思えて感じました。

最後に、今回の全国労研交流会議に参加して感じたことは、いろいろな問題を抱えているのは北海道だけではなく、全国的に共通した部分と、各地方特有の問題点があるということが理解でき、このような交流会議の場は、問題点解決の糸口になるかと思っておりますので興味のある方は是非参加していただきたいと思っております。

第57回全国建設労働問題連絡協議会ならびに 第33回全国労研交流会議に参加して

(一社)札幌建設業協会 労務研究会
労務管理部会 河端 伸 明

今回は、労務安全管理のスキルアップのため、また各地の労研においてどのような問題があり活動を行っているのか非常に興味があって参加させていただきました。

4日の全国建設労働問題連絡協議会では、2部構成になっており、女性が活躍できる建設業をめざして、現行施策として、妊娠・出産・子育てを経ても就業が継続できるよう、仕事と家庭を両立しやすい職場環境の整備を支援していくことが必要ということや夫の育児休暇も拡充されることを切に望みますという意見を参加者に訴えていました。その後の全国労研交流懇親会では、昨年からの事業量が回復傾向にあるが若年入職者が不足し人手不足が続き、死傷災害は増加の傾向にあり残念な結果となっているとお話がありました。また全国労研の方とは初対面であり、多くの時間は道労研の方々との交流会になってしまいました。

5日の全国労研交流会議は、各地労研の成果発表では労働災害防止等に対して真剣に取り組んでおられることが痛切に感じられました。中では大阪労研の「労働災害発生状況調査結果」について不安全行動と年齢のクロス分析が細かくされており今後の労働災害を防止する上でも非常に参考になりました。また北信越労研は「建設現場従事者の健康対策と今後の対応策」について建設従事者が安全・安心に働けるとは、会社が現場で事故・災害に遭わない作業環境を創りあげることだけでなく、建設現場従事者が心身共に健康であるべきことが更に大切という話や四国労研は「安全衛生手帳の改訂版」について取り組んでおり、絵や表を多く取り入れて見て分かりやすい携帯できる小冊子は大変良く参考になりました。特に愛知労研の発表の「建設系高校生人材育成・入職促進事業」は、より建設業を知ってもらおうと現場見学会は9月から毎月のように開催したり、高校生の就職先の決定権が母親にあるということを踏まえて、保護者参加型の現場見学会等も実施しており、大変積極的な活動をされているようでした。またCBCラジオによる広報活動

も行っており、毎週土曜日午前11時から5分程度、建設業が果たしている役割を市民・県民に正しく理解していただくことを目的にラジオを通して、話題をクイズ形式で提供していることが非常に印象的でした。

初めての会議参加でしたが、参考にさせていただきたい点が大変多く、私自身もっとスキルアップに努め頑張らなければと感じて帰ってきました。

貴重な体験をさせていただいた(一社)札幌建設業協会労務研究会に対し感謝致しまして全国連絡協議会、交流会参加報告と致します。

★各地労研の発表内容★

- ①大 阪…労働災害発生状況調査結果について、災害事例と適正な作業方法について
- ②仙 台…仙台ろうけん40年の歩み、会報代2号による活動報告について
- ③北海道…建設現場安全関係参考書式集について
- ④北信越…建設現場従事者の健康対策の現状と今後の対応策について
- ⑤福 岡…平成26年度活動報告、見える化事例集について
- ⑥四 国…安全衛生手帳の改訂版について他26年度活動報告について
- ⑦愛 知…建設系高校生人材育成・入職促進事業について
- ⑧東 京…安全衛生委員会活動報告
安全衛生優良事例集、建設職長ノート他
労務管理委員会活動報告
労務管理教材シリーズ2、外国人技能
実習制度と不法就労の防止改訂版他
教育委員会活動報告
平成26年度労研セミナー及び危険体感
教育等の事例研究について
労務安全必携編集委員会活動報告
平成26年度版労務安全必携について
建災防本部の活動報告
緊急要請への対応等について



※各地労研の発表資料は、協会事務局にありますのでご覧になりたい方は事務局迄お問合せ下さい。

平成26年度「けんろく会」ゴルフコンペを開催しました！

第1回

平成26年5月24日(土)

現役、OB、関係団体あわせて総勢14名の参加の中、栗山町のシャトレゼカントリークラブ札幌にて開催しました。

当日の天気はあいにくの曇り空で肌寒い一日の中でのプレーとなりましたが、皆様のゴルフに対する熱い情熱でなんとか良いコンディションでプレーが出来ました。ただ、今回のコースではアップダウンも多く、優勝スコアもネット73とオーバースコアとなっているのが物語っているように、皆様スコアメイクには相当苦勞されているようでした。全体的にもネット70台が4人しかいないという結果となりました。



開始前の集合風景



優勝者 坂本氏(新太平洋建設)

●成績

優勝：坂本 昌幸氏(新太平洋建設) グロス：92 (HC19)、ネット73
 準優勝：木谷 泉氏(建 災 防) グロス：87 (HC12)、ネット75
 3位：谷内 義弘氏(ユ ニ ッ ト) グロス：111 (HC34)、ネット77

第2回

平成26年9月20日(土)



開始前の集合風景

現役、OB、関係団体あわせて総勢20名の参加の中、石狩生振の茨戸カントリークラブにて開催しました。当日は朝からあいにくの雨模様でしたが、午後からのスタートが幸いしてか、スタート時には、参加者のゴルフに対する熱い思いが勝って、午前中の雨が嘘のように晴れ上がり、最高のコンディションでプレーが出来ました。また今回のコースは、キャディ付きの平坦なコースだったためか、優勝スコアもネット71とアンダーがでて、全体的に良いスコアがでたコンペとなりました。

次年度も今年度と同様の開催を計画していますので、今年度優勝を逃した方は是非優勝を狙って頂きたいと思っております。

●成績

優勝：武山 泰司氏(勇 建 設) グロス：86 (HC15)、ネット71
 準優勝：伊藤 勝行氏(田 中 組) グロス：87 (HC15)、ネット72
 3位：奥村 拓郎氏(元 勇 建 設) グロス：90 (HC17)、ネット73



優勝者 武山氏(勇建設)

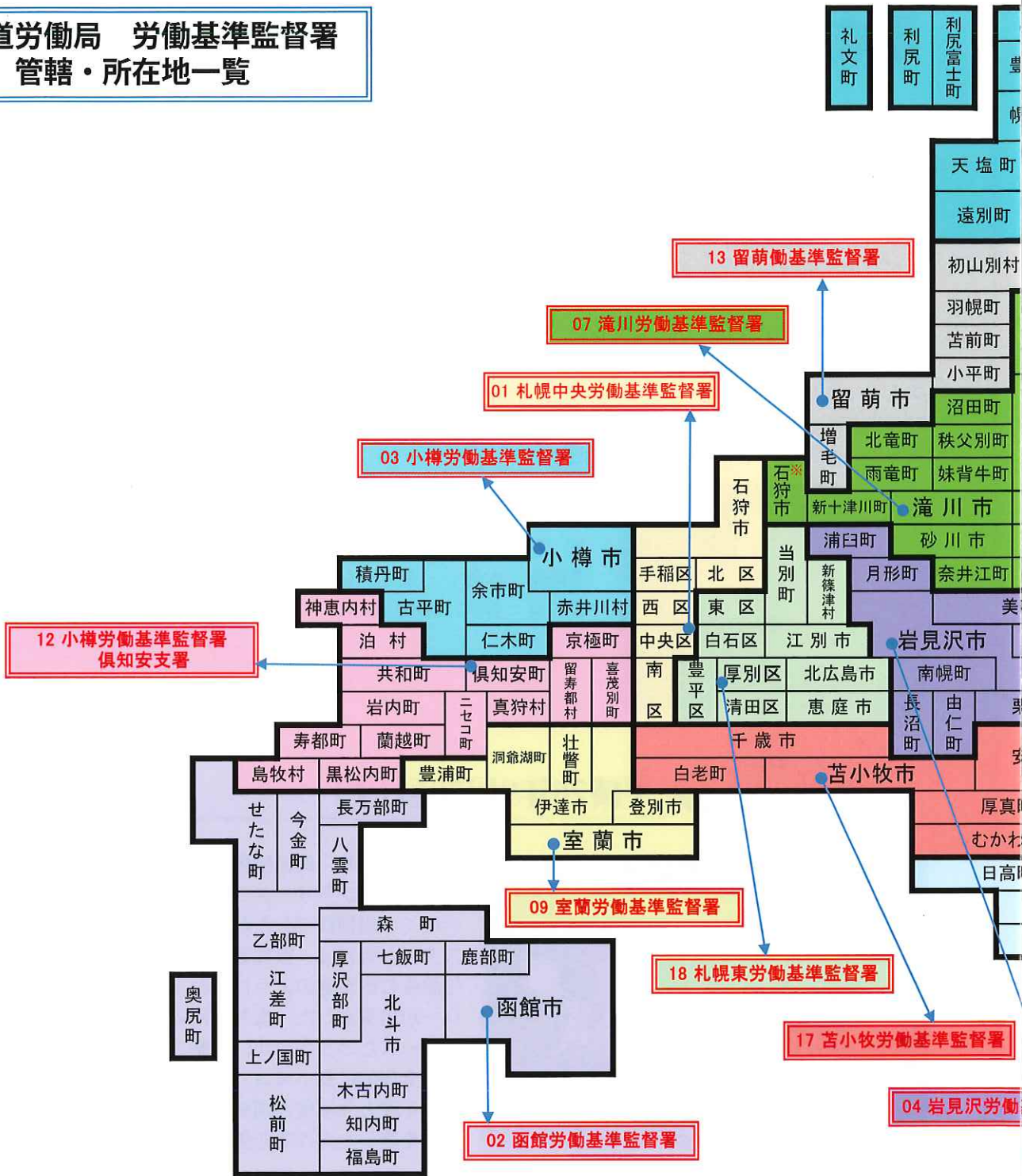
☆information☆

- ・次回の開催は、平成27年5月頃を予定しております。
- ・新規会員を随時募集しております。

「けんろく会」に興味のある方は、下記問合せ先までご連絡ください。

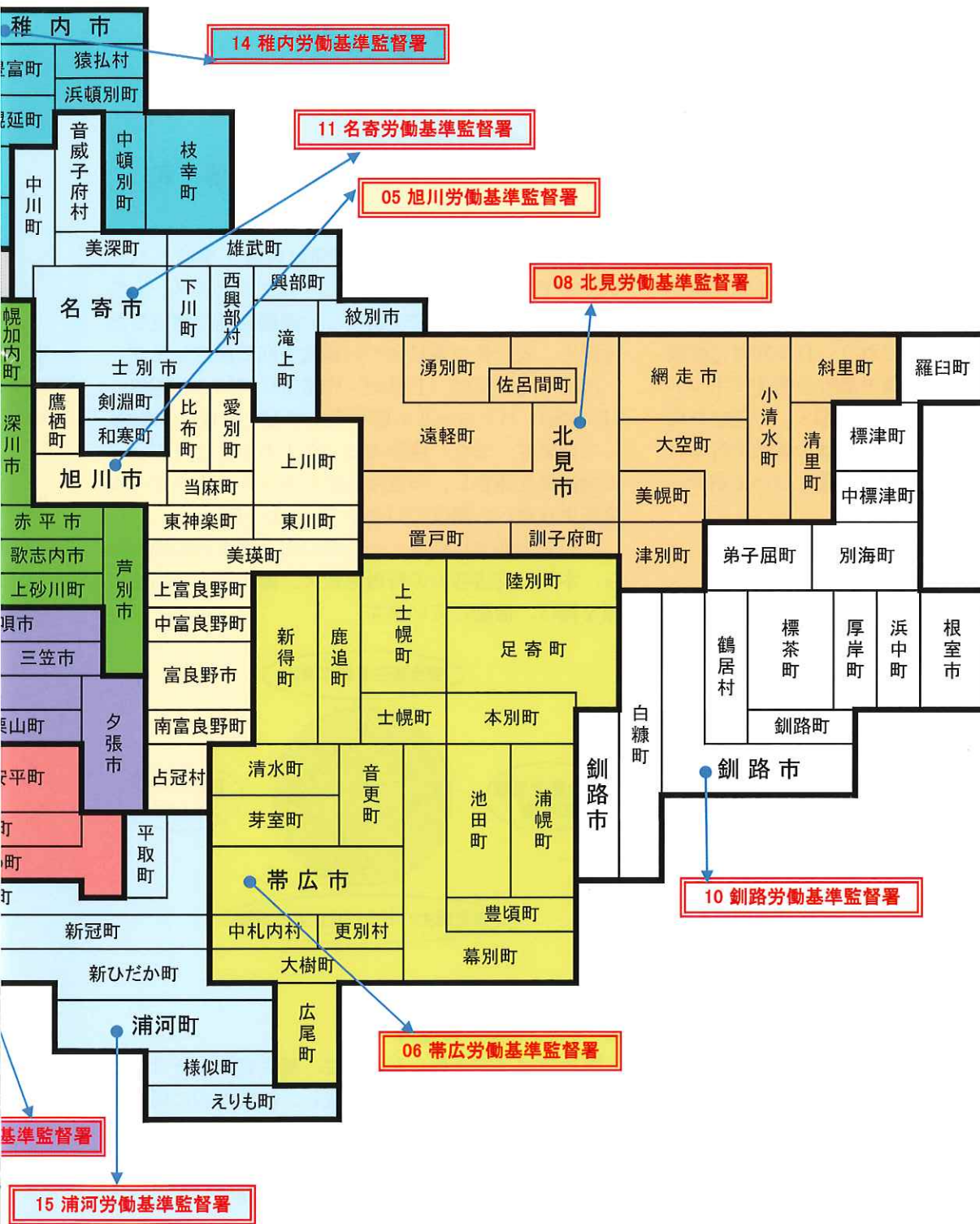
問合せ先：(株)田中組 伊藤 (電話：090-3394-7444)

北海道労働局 労働基準監督署
管轄・所在地一覧



名称	郵便番号	所在地	電話番号
北海道労働局	060-8566	札幌市北区北8条西2丁目1-1 札幌第1合同庁舎	011-709-2311
札幌中央労働基準監督署	060-8587	札幌市北区北8条西2丁目1-1 札幌第1合同庁舎7階	011-737-1190
札幌東労働基準監督署	004-8518	札幌市厚別区厚別中央2条1丁目2-5	011-894-1120
函館労働基準監督署	040-0032	函館市新川町25-18 函館地方合同庁舎	0138-23-1276
江差駐在事務所	043-0041	檜山郡江差町字姥神町167 江差地方合同庁舎	0139-52-1028
小樽労働基準監督署	047-0007	小樽市港町5-2 小樽地方合同庁舎3階	0134-33-7651
岩見沢労働基準監督署	068-0005	岩見沢市5条東15丁目7番地の7 岩見沢地方合同庁舎	0126-22-4490
旭川労働基準監督署	078-8505	旭川市宮前1条3丁目3-15 旭川合同庁舎西館6階	0166-35-5901
帯広労働基準監督署	080-0016	帯広市西6条南7丁目3 帯広地方合同庁舎	0155-22-8100
滝川労働基準監督署	073-8502	滝川市緑町2丁目5-30	0125-24-7361

※石狩市浜益区は、滝川労働基準監督署管轄となりますのでご注意ください。



名称	郵便番号	所在地	電話番号
北見労働基準監督署	090-8540	北見市青葉町6-8 北見地方合同庁舎	0157-23-7406
室蘭労働基準監督署	051-0023	室蘭市入江町1-13 室蘭地方合同庁舎	0143-23-6131
苫小牧労働基準監督署	053-8540	苫小牧市港町1丁目6-15 苫小牧港湾合同庁舎	0144-33-7396
釧路労働基準監督署	085-8510	釧路市柏木町2-12	0154-42-9711
名寄労働基準監督署	096-0014	名寄市西4条南9丁目16番地	01654-2-3186
留萌労働基準監督署	077-0048	留萌市大町2丁目 留萌地方合同庁舎	0164-42-0463
稚内労働基準監督署	097-0001	稚内市末広3丁目3-1	0162-23-3833
浦河労働基準監督署	057-0034	浦河郡浦河町堺町西1丁目3-31	0146-22-2113
小樽 倶知安 支署	044-0011	虻田郡倶知安町南1条東3丁目1番地 倶知安地方合同庁舎4階	0136-22-0206

我が社の安全衛生管理活動について

岩田地崎建設株式会社

安全品質環境部長 本間博司

1. はじめに

岩田地崎建設は大正11年の創業より92年目を迎え、現在では北海道をはじめ、国内外で建築・土木工事を手がけております。また、平成14年度より安全衛生マネジメントシステムを運用しており、18年10月に建設業労働災害防止協会から建設業労働安全衛生マネジメントシステム（通称コスモスCOHSMS）の認定を取得し、現在に至っております。今回は、弊社で行われている安全衛生活動から代表的な活動について紹介いたします。

2. 安全衛生方針

弊社では『建設事業を通して人と自然の最適環境づくりに貢献する。』の経営理念の下、次に示す安全衛生方針に基づいて様々な安全衛生活動に取り組んでいます。

建設業としての事業活動の基盤として、安全と健康の確保が最重要であることを認識し、全職員の協力のもとに安全衛生活動を実施し、安全で快適な職場環境づくりを目指す。

1. 労働安全衛生マネジメントシステムを施工管理の仕組みと一体化して実施、運用し、労働災害の防止を図る。
2. 労働安全衛生関係法令、並びに当社の安全衛生に関する規定を遵守する。
3. 安全衛生活動の重要性を全職員が理解し、確実に実施するように、安全衛生教育を徹底する。
4. 労働安全衛生マネジメントシステムに定めるPDCAサイクルを回し、継続的な安全衛生水準の向上を図る。

3. 安全スローガンの全社投票

毎年度末に、次年度の安全スローガンを全社員から募集し、社員投票により決定させています。また、採用された安全スローガン提案者に対する表彰を行っております。ちなみに、平成26年度安全スローガンは、『正しい手順と危険予知 リスクを除去して安全作業』となりました。（東京支店からの応募）

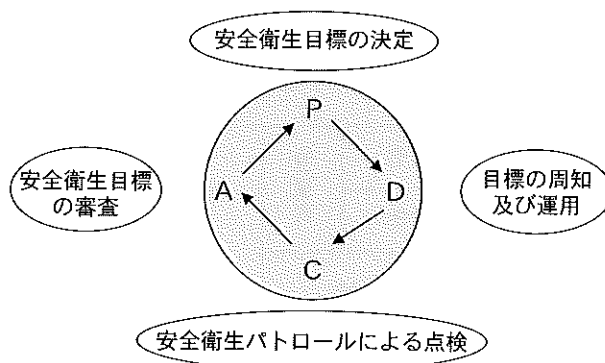
また、作成したポスターを現場に配布し掲示させ、職員・作業員に周知させ、安全意識の高揚に役立てております。

4. 安全衛生目標の決定と運用

安全衛生目標は、過去一年間の災害・事故・パトロールでの指摘事項等についてリスクアセスメントを実施し、特定された安全衛生上の課題を基に策定した目標を、安全衛生委員会での審議を経て決定します。

決定した目標は（P計画）作業所に周知させ運用し（D実施）、パトロールの際に実施状況を点検（C確認）しています。また、店社の安全衛生委員会で月ごとの点検結果を報告し、年度末に取りまとめ、次年度の安全衛生目標へと繋げていきます。（A行動）

この安全衛生目標は、一年間の安全衛生活動内容から、本社・支店各々の特徴を捉え、違った安全衛生目標を掲げ、活動しています。



5. 『無災害旗』の運用

弊社では『安全旗』とは別に、無災害作業所であることを示す『無災害旗』を作成し、作業所内に掲示することにより、作業所全体の安全衛生意識の高揚を図っています。この『無災害旗』は、作業所所長が総括安全衛生管理者から支給され、災害が発生した場合は速やかに総括安全衛生管理者へ返還する、と規定したことから、作業所所長以下元請職員および協力業者の安全への取り組みの活性化に繋がり、災害・事故等の抑止に効果をあげています。

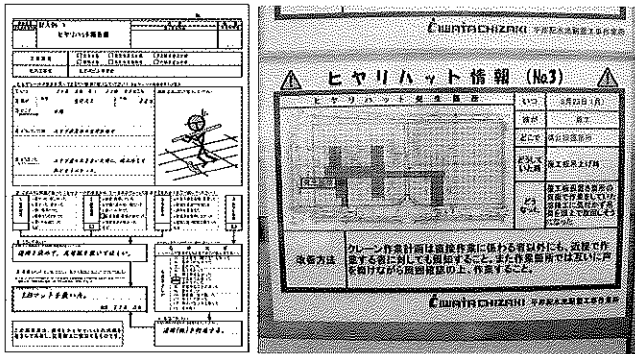


6. ヒヤリハット総ぐるみ運動

現場において発生したヒヤリハットを可能な限り作業員に提出してもらい、発生したヒヤリハットの防止対策は、ヒヤリハット体験者以外にも注意喚起できるよう『見える化』を図るよう指導しています。また、店社の安全衛生委員会で『見える化』の事例を報告し水平展開させています。

『見える化』とは、そのヒヤリハットの原因を取り除いたりすることで危険を回避し、より安全な現場の状態にすることにより、災害発生を抑制することです。この活動が活発に行われている現場ほど災害の発生率が低下し、現場自体がより安全な状態になるものと考え、全社で取り組んでいます。資料のように安全掲示板に表示してヒヤリハットそのものを周知させることも可能となります。

●ヒヤリハット報告書 ●ヒヤリハットの掲示による周知



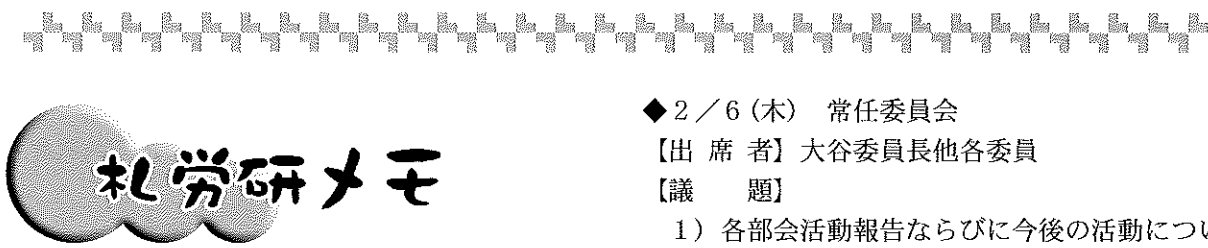
7. 過去の災害カレンダー

過去5年間に発生した災害・事故等の概要を月ごとに纏め、『過去の災害カレンダー』を作成しています。『過去の災害カレンダー』は作業所に掲示し、元請職員および協力業者への注意喚起を図り、類似災害・事故等の抑止に効果をあげています。月ごとに纏めることにより、それぞれの時期の災害・事故等の傾向が確認でき、災害防止の先行指導が可能となります。

2013 平成25年 6月 過去の災害カレンダー (平成20年～平成24年発生分)

日	27	28	29	30	31	日	月
2	3	4	5	6	7	8	土
9	10	11	12	13	14	15	日
16	17	18	19	20	21	22	月
23	24	25	26	27	28	29	火
30	1	2	3	4	5	6	水

○大谷地区支店発生災害(8/1-6/20) ○大谷地区支店発生災害(8/1-6/30) ○大谷地区支店発生災害(8/10-6/16)



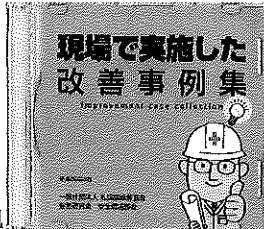
自 2014. 1. 1 ~ 至 2014. 12. 31

◆1/31(金) 安全環境部会

【出席者】坂本部長
他各委員

【議題】

- 1) 『現場で実施した改善事例集』CD製作会議他



◆2/6(木) 正副委員長・部会長合同会議

【出席者】大谷委員長他副委員長および部会長

【議題】

- 1) 常任委員会議題について

◆2/6(木) 常任委員会

【出席者】大谷委員長他各委員

【議題】

- 1) 各部会活動報告ならびに今後の活動について
- 2) 会則の改定について
- 3) 札労研HPについて

◆3/20(木) 正副委員長・部会長合同会議

【出席者】大谷委員長他副委員長および部会長

【議題】

- 1) 常任委員会議題について

◆3/20(木) 常任委員会

【出席者】大谷委員長他各委員

【議題】

- 1) 新年度の札労研役員体制について
- 2) 年間行事予定について
- 3) 各部会の新年度活動テーマ等について
- 4) 会則の改定について

5) 札労研活動実績報告について

- ◆ 5/16(金) 正副委員長・部会長合同会議
【出席者】大谷委員長他副委員長および部会長
【議題】

1) 常任委員会議題について

- ◆ 5/16(金) 常任委員会
【出席者】大谷委員長他各委員
【議題】

- 1) 新年度の役員・部会体制について
- 2) 各部会の新年度活動テーマ等について
- 3) 収支決算報告について



- ◆ 6/9(月) 正副委員長・部会長合同会議
【出席者】大谷委員長他副委員長および部会長
【議題】

- 1) 年間行事における議題について
- 2) 事務局交代による引継ぎについて

- ◆ 6/18(水) 労務管理部会
【出席者】薄田部会長他委員
【議題】
- 1) 『労災保険適用の手引き』発行会議

- ◆ 6/26(木) 安全環境部会
【出席者】伊藤部会長他各委員
【議題】
- 1) 新年度活動テーマにおける今後の予定等について

- ◆ 7/17(木) 労務管理部会
【出席者】薄田部会長他委員
【議題】
- 1) 『労災保険適用の手引き』発行会議

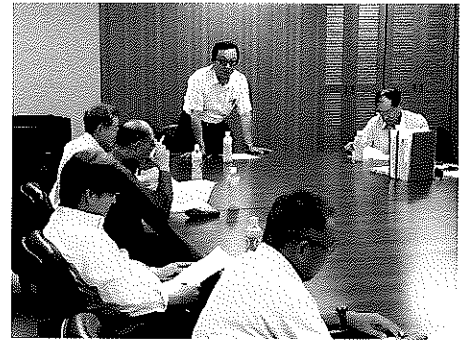
- ◆ 8/20(水) 正副委員長・部会長合同会議
【出席者】大谷委員長他副委員長および部会長
【議題】
- 1) 常任委員会議題について

- ◆ 8/22(金) 安全環境部会
【出席者】伊藤部会長他各委員
【議題】

- 1) 『ライフライン事故事例等について』活動会議

- ◆ 8/22(金) 常任委員会
【出席者】大谷委員長他各委員
【議題】

- 1) 各部会活動報告について
- 2) 賃金管理・公共事業労務費調査研修会及び相談会について
- 3) 公共事業労務費調査説明会手伝いについて
- 4) 今後の活動予定について
- 5) 札労研だよりの発行について
- 6) その他

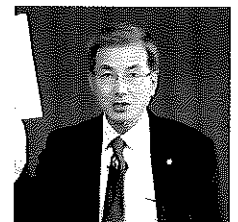


- ◆ 9/17(水) 労務管理部会
【出席者】薄田部会長他委員
【議題】
- 1) 『労災保険適用の手引き』発行会議

- ◆ 10/15(水) 公共事業労務費調査地方説明会
【主催者】国土交通省
【場所】札幌市民ホール 大ホール
【参加者】約700名
札幌労務研究会各委員が手伝いとして参加

- ◆ 10/23(木) 賃金管理・公共事業労務費調査の研修会
【場所】北海道建設会館大ホール
【参加者】会員企業、建専連北海道所属企業あわせて約100名
【研修内容】

- 1) 講話「正しい労務管理のための基本事項」
- 講師 札幌中央労働基準監督署
第2方面主任監督官 土谷啓二郎氏
第2方面労働基準監督官 小笠 元裕氏



2) 「公共事業労務費調査票の適切な記載に向けてのポイント」

講師 札幌労務研究会
労務管理部会長
薄田 将人
労務管理副部長
加藤 元春



【議 題】

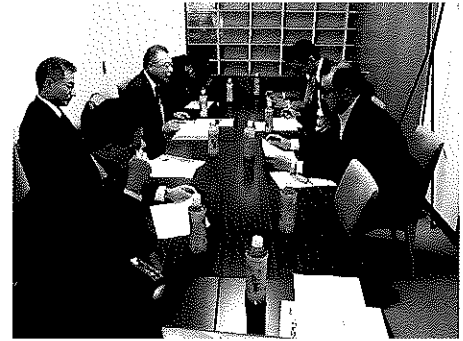
1) 『労災保険適用の手引き』編集作業

◆11/11(木) 企画会

【出席者】田中企画会担当委員他各担当委員

【議 題】

1) 『札労研だより』発行会議



◆10/23(木) 公共事業労務費調査にかかる
賃金管理相談会

【場 所】北海道建設会館 8階A会議室

【参加者】19社

【対応者】大谷委員長・薄田部会長他労務管理部
各委員が中心に対応



◆12/5(金) 正副委員長・部会長合同会議

【出席者】大谷委員長他副委員長および部会長

【議 題】

1) 常任委員会議題について

◆12/5(金) 常任委員会

【出席者】大谷委員長他各委員

【議 題】

- 1) 各部会活動報告ならびに今後の活動予定について
- 2) 札労研だよりの発行について
- 3) その他

※今年度の正副部会長合同会議ならびに常任委員会
の開催場所は全て札幌建設業協会会議室で開催し
ています。

◆10/30(木) 労務管理部会

【出席者】薄田部会長・加藤副部長・福田委員

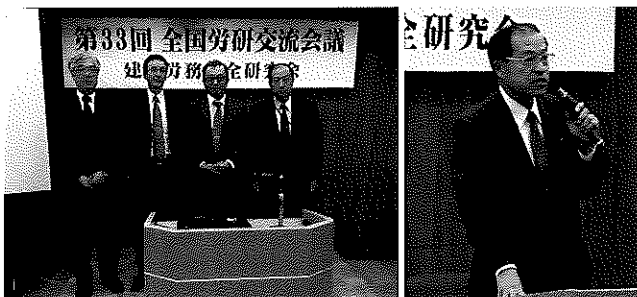
【議 題】

1) 『労災保険適用の手引き』編集作業

◆11/4(火) 全国建設業労働問題連絡協議会及び
～5(水) 全国労研交流会議

【場 所】東京都 マツダホール及び鉄鋼会館

【出席者】札幌労務研究会委員長 大谷 浩樹
札幌労務研究会副委員長 高橋 雅勝
札幌労務研究会安全環境部会長 伊藤 勝行
札幌労務研究会委員 河端 伸明



平成27年の活動予定

- 2月 正副・部会長会議
常任委員会
- 3月 正副・部会長会議
常任委員会
- 4月 『労災保険適用の手引き』発刊予定
- 5月 札労研年次総会
正副・部会長会議
常任委員会
- 8月 正副・部会長会議
常任委員会
- 12月 正副・部会長会議
常任委員会

※各部会活動は必要に応じて随時開催

◆11/6(木) 労務管理部会

【出席者】薄田部会長・加藤副部長・福田委員

一般社団法人 札幌建設業協会 労務研究会 常任委員名簿

- 委員長 大谷 浩樹 (株)石山組 【札幌建設業協会委員・道建設業協会委員・道労研副委員長兼任】
- 副委員長 高橋 雅勝 (株)中山組 【札幌建設業協会委員・道労研安全環境部会長兼任】
- 副委員長 薄田 将人 北土建設 (株) 【札幌建設業協会委員・道労研賃金管理部会委員兼任】
- 安全環境部会長 伊藤 勝行 (株)田中組
- 企画会担当責任者 田中 清貴 勇建設 (株) 【札幌建設業協会委員・道労研労務管理部会委員兼任】

◎⇒部会長、○⇒副部会長、★⇒企画会担当責任者、☆⇒企画会担当

部会	氏名	会社名	部会	氏名	会社名
労務管理部会	◎ ☆ 薄田 将人	北土建設 (株)	安全環境部会	◎ ☆ 伊藤 勝行	(株)田中組
	○ ☆ 山田 昌俊	伊藤組土建 (株)		○ 金山 二樹	岸本産業 (株)
	○ ☆ 加藤 元春	丸彦渡辺建設 (株)		○ 本間 博司	岩田地崎建設 (株)
	福田 徹	杉原建設 (株)		高橋 雅勝	(株)中山組
	河端 伸明	北海土木工業 (株)		☆ 坂本 昌幸	新太平洋建設 (株)
	渡部 正力	(株)玉川組		★ 田中 清貴	勇建設 (株)
	北畑 純一	恵庭建設 (株)		池田 良利	札幌工業 (株)
	小玉 博之	道路工業 (株)		阿 曾 清	(株)山田組
	松田 元之	大東工業 (株)			
	武山 泰司	勇建設 (株)			
神田 俊彦	(株)大庭組				

★常任委員・部会委員紹介★

①氏名 ②所属会社 ③所属部署 ④年齢 ⑤血液型 ⑥趣味 ⑦一言

【委員長】



- ① 大谷浩樹
- ② (株)石山組
- ③ 安全管理課
- ④ 53歳
- ⑤ O型
- ⑥ フライフィッシング・鳥の羽根収集・競馬・カメラ他
- ⑦ 札幌研がより良い会となるよう残りの任期をがんばります！

【副委員長】



- ① 高橋雅勝
- ② (株)中山組
- ③ 安全・ISO部
- ④ 59歳
- ⑤ O型
- ⑥ ゴルフ・クラシック音楽鑑賞
- ⑦ 常任委員皆さんの一致団結で毎年活動の目覚ましい成果を上げています。

【副委員長 兼労務管理部会長】



- ① 薄田将人
- ② 北土建設(株)
- ③ 総務部
- ④ 56歳
- ⑤ A型
- ⑥ 映画鑑賞
- ⑦ 札幌研に入会して一緒に労務安全関係の活動をしませんか。課題や宿題が出ることもありますが委員が協力して取組みます。

【安全環境部会長】



- ① 伊藤勝行
- ② (株)田中組
- ③ 総務部
- ④ 56歳
- ⑤ B型
- ⑥ ゴルフ・バドミントン・バイク
- ⑦ 他社との交流の場と、大事な情報源となる会です。自分を高め、会社の安全を守る研究会と感じています。



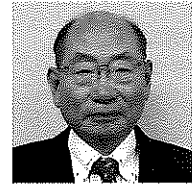
- ① 阿曾 清
- ② (株)山田組
- ③ 安全管理部
- ④ 64歳
- ⑤ B型
- ⑥ マラソン
- ⑦ 夏になったら黒くなる現場大好き人間です。



- ① 池田良利
- ② 札建工業(株)
- ③ 線路部
- ④ 63歳
- ⑤ O型
- ⑥ 読書・スポーツ鑑賞・カラオケ
- ⑦ 活動に参加することで多様な情報交換ができ、ためになることも多いので会員企業の皆様には札労研活動に積極的に参加することをお勧めします。



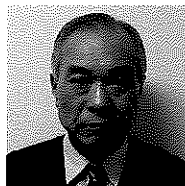
- ① 加藤元春
- ② 丸彦渡辺建設(株)
- ③ 安全品質環境室
- ④ 49歳
- ⑤ B型
- ⑥ 釣り
- ⑦ 会員皆様のニーズにお応え出来る活動をしてまいります。御要望があればお知らせください。



- ① 金山二樹
- ② 岸本産業(株)
- ③ 安全労務担当
- ④ 73歳
- ⑤ A型
- ⑥ テレビでスポーツ鑑賞
- ⑦ 会員の皆さん、札労研の常任委員になりませんか。安全衛生知識が尚一層向上できますよ。



- ① 河端伸明
- ② 北海土木工業(株)
- ③ 工務部
- ④ 62歳
- ⑤ O型
- ⑥ ガーデニング
- ⑦ 「健康第一」65歳までガンバロウ札労研活動ヨシ!!



- ① 北畑純一
- ② 恵庭建設(株)
- ③ 土木部
- ④ 62歳
- ⑤ O型
- ⑥ 4歳の孫に遊ばれること
- ⑦ 札労研活動は、大変有意義な情報交換の場です。



- ① 小玉博之
- ② 道路工業(株)
- ③ 安全部
- ④ 54歳
- ⑤ A型
- ⑥ ガーデニング
- ⑦ 労務・安全の知識の習得、研鑽に努めお役に立てるよう努力して参ります。



- ① 坂本昌幸
- ② 新太平洋建設(株)
- ③ 安全部
- ④ 61歳
- ⑤ O型
- ⑥ ジョギング・ゴルフ
- ⑦ ご安全に!



- ① 田中清貴
- ② 勇建設(株)
- ③ 安全品質環境部
- ④ 63歳
- ⑤ O型
- ⑥ 散歩
- ⑦ 労災防止のため一緒に活動しましょう。



- ① 福田 徹
- ② 杉原建設(株)
- ③ 営業部
- ④ 62歳
- ⑤ O型
- ⑥ 小っちゃい玉を打つこと
- ⑦ 札労研と共に今年も良い一年でありますように



- ① 本間博司
- ② 岩田地崎建設(株)
- ③ 安全品質環境部
- ④ 58歳
- ⑤ O型
- ⑥ 戦国時代から明治維新に関する歴史本を読み漁る
- ⑦ 北海道の安全衛生に関する情報交換の場として有意義な会であると思っ活動をしています。



- ① 松田元之
- ② 大東工業(株)
- ③ コンプライアンス推進室
- ④ 55歳
- ⑤ A型
- ⑥ 闘伐ボランティア・スポーツクラブ
- ⑦ 建設業に係わる人たちの待遇改善に、微力でも役に立ちたいです。



- ① 山田昌俊
- ② 伊藤組土建(株)
- ③ 安全品質環境部
- ④ 55歳
- ⑤ O型
- ⑥ 家庭菜園
- ⑦ 情報満載の常任委員会を開催しています。常任委員として参加しませんか。



- ① 渡部正力
- ② (株)玉川組
- ③ 安全管理室
- ④ 59歳
- ⑤ O型
- ⑥ 神社、史跡巡り(大河ドラマの影響)
- ⑦ 間もなく「労災保険適用の手引き(改訂版)」が完成します。是非、お手元において活用下さい。



- ① 神田俊彦
- ② (株)大庭組
- ③ 工事部
- ④ 54歳
- ⑤ O型
- ⑥ スポーツジムで少し汗を流し、暑い風呂に首までつかること
- ⑦ 札労研部会委員は皆様のお役にたてる様今後も活動を続けてまいります。よろしくお願います。



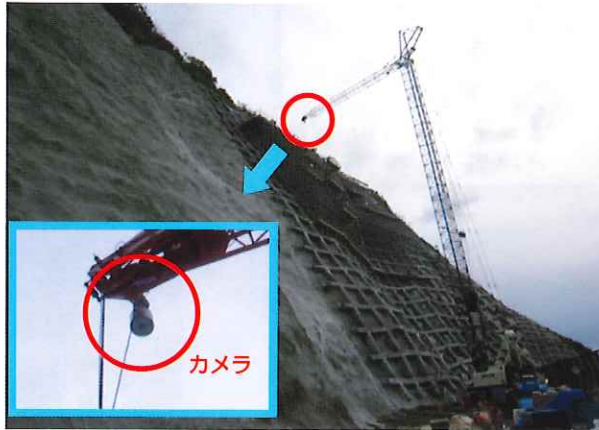
- ① 武山泰司
- ② 勇建設(株)
- ③ 安全品質環境部
- ④ 56歳
- ⑤ B型
- ⑥ 特になし(ゴルフ)
- ⑦ 札労研の専門部会で一緒に活動できる仲間が増えることを望みます。

カメラが見た

安全の工夫

あ ら が る と

ブーム先端カメラ付クローラクレーンの使用



ポイント

通常、大型クレーンの作業合図は無線で行っているが、ブーム先端にセットしたカメラにより作業状況を運転席モニターで直接確認することでより安全性を高めると共に作業合図の聞き違いなどによる誤操作防止を徹底した。

ライトブリッジ使用の安全通路



ポイント

突堤に接岸しているFD(ケーソンドック)までの通路上にある係船ロープなどの障害物を避けるために、単管組みの安全通路によらずユニット化されたライトブリッジを使用することで組み立てが少人数、短時間で完了し、軽量なため移動などが従来の単管通路に比べ容易である。